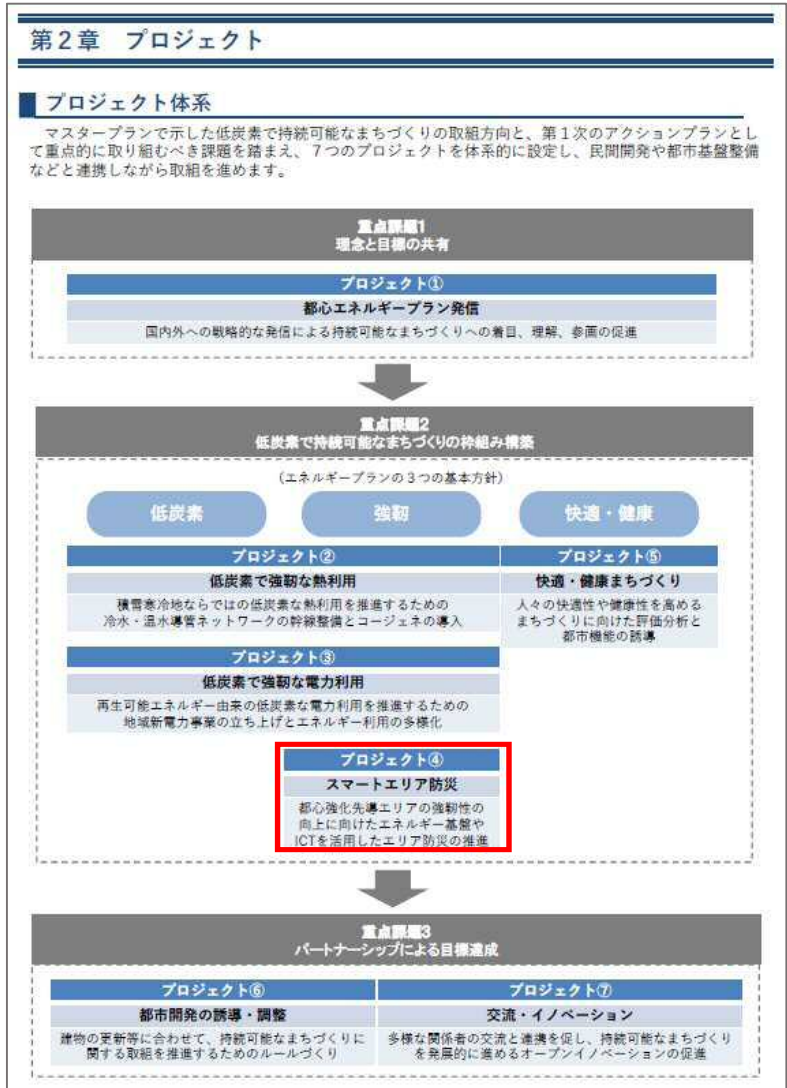


報告事項 5

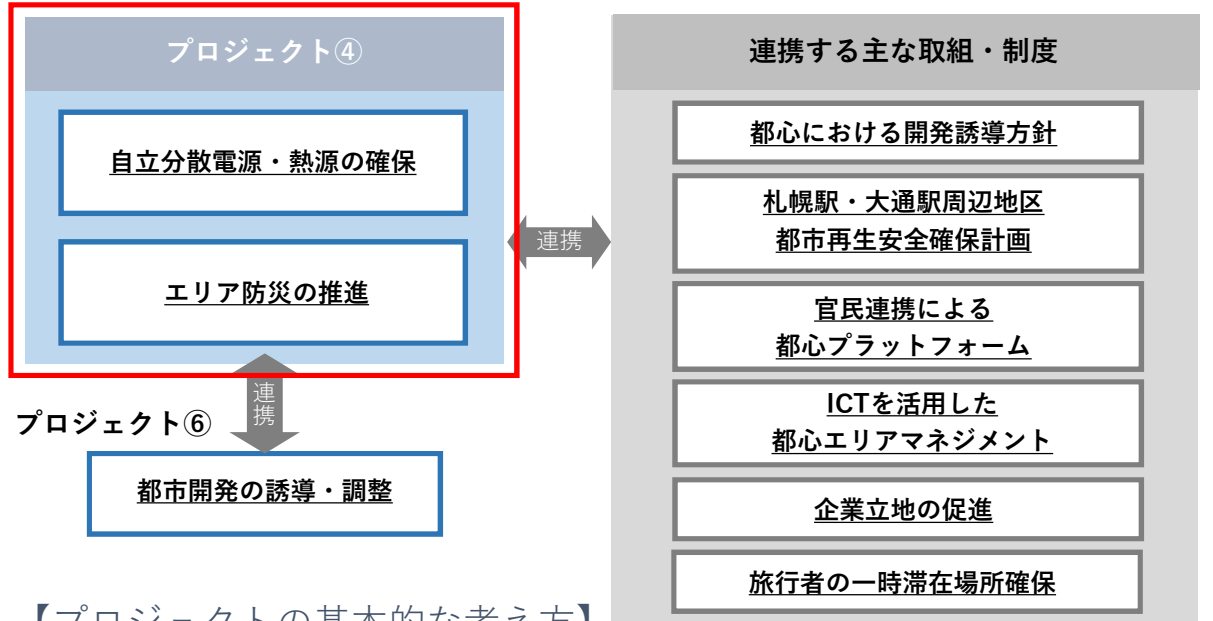
スマートエリア防災

都心エネルギープランでの取組の位置付け(プロジェクト④:スマートエリア防災)



(都心エネルギーアクションプランP.14)

達成指標	目標値 1 (2023年度)	目標値 2 (2030年度)
一時滞在施設での自立分散電源の確保	チ・カ・ホでの自立分散電源の確保	公共的な一時滞在施設での自立分散電源の確保
エリア防災協定の締結	チ・カ・ホと周辺施設での協定締結	公共的な一時滞在施設と周辺施設での協定締結



【プロジェクトの基本的な考え方】
都心を訪れる市民や観光客等の安心安全の確保と企業等の事業継続性の強化に向け、地域の官民の連携によりハード・ソフトの両面で防災体制づくりを進める。特に都心強化先導エリアにおいては、再開発や建替等の機会を捉えた自立分散電源と熱源の確保、ICTを活用したスマートなエネルギーの融通や防災情報の発信体制の構築などを進める。

プロジェクト④:スマートエリア防災(報告)

令和2年度の実施内容

- **チカホへの非常用発電機整備**

北1条地下駐車場及び地下歩道の停電対策（国）と一体的にチカホの停電対策（市）を実施。

- **北1西1周辺街区非常用電気等供給施設協定締結の検討**

創世ECの非常用電気等供給施設への位置付け（H30.3）に基づき、非常時の創世ECから市役所本庁舎への温水供給について3者協定を締結予定。
（札幌市、さっぽろ創世スクエア管理組合、(株)北海道熱供給公社の3者。）

- **北4東6街区への自立分散電源整備に係る国費補助共同申請実施**

北4東6街区の2期工事にて整備する北東街区へのエネルギー供給を可能とするため、46ECの設備増設に係る国費補助について、北海道ガス(株)と共同申請を実施。

プロジェクト④:スマートエリア防災(報告)

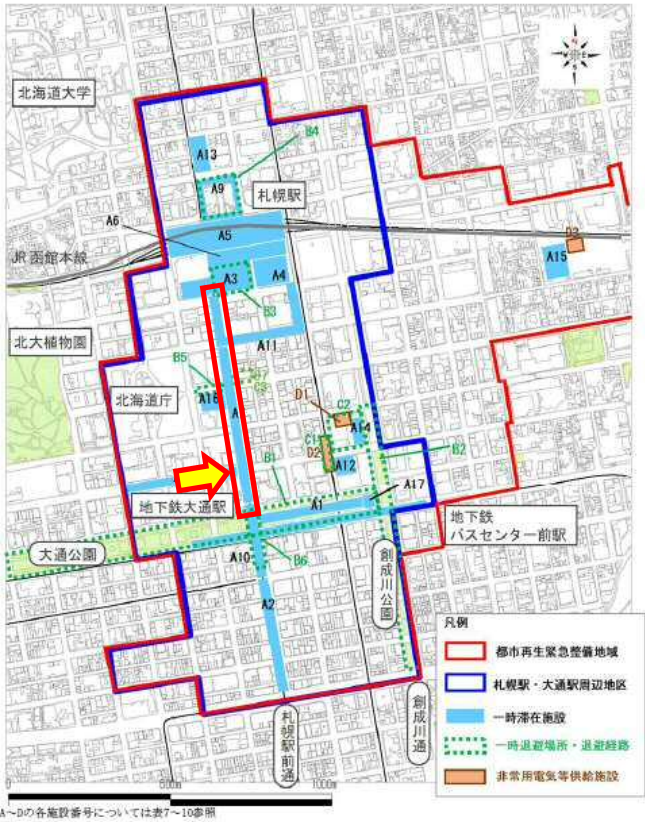


図15 整備済み都市再生安全確保施設位置図

※A～Dの各施設番号については表7～10参照

非常用発電機の整備により、
停電時のチカホへの電力供給が可能
(チカホは一時滞在施設に位置付け)



図16 札幌駅・大通駅周辺地区都市再生安全確保計画図 D1 創世エネルギーセンター及び D2 西2丁目地下歩道熱導管ネットワーク 詳細

- 非常時の対応
- ・さっぽろ創世スクエアへは温水・冷水・蒸気の供給を継続する。電力については、CGS 1,400 kWのうち本庁舎へ700 kWを供給し、700 kWを非常用電気等供給施設で使用する。供給能力については下表参照。
- ・札幌市役所本庁舎へは温水の供給を継続する。電力については本庁舎所有の非常用電源を使用する。供給能力については下表参照。

○非常時の供給能力		供給能力
		さっぽろ創世スクエア
CGS		700 kW
温水		9,000 MJ/h
冷水		740 RT
蒸気		契約熱量の上限值
融雪温水		—
		札幌市本庁舎
		8,000 MJ/h

協定締結により、非常時の
市役所本庁舎への温水供給を継続



図17 札幌駅・大通駅周辺地区都市再生安全確保計画図 D3 4/6 エネルギーセンター 詳細

- 非常時の対応
- ・供給対象建物に対し、供給能力に応じた電気・温水・冷水の供給を継続する。供給能力については下表参照
- ・供給対象建物の整備に合わせ、1期、2期に分割した供給施設の供給能力増強を行う。

○非常時の供給能力			
	供給能力および供給設備(※1)	内訳(※2)	
CGS	630(315) kW CGS 315 kW×2 台(1台)	供給施設:	175 kW
		札幌市中央体育館:	100 kW～
温水	6,696(3,348) MJ/h 温水器 3,348 MJ/h×2 台(1台)	共同住宅:	20 kW～
		医療・福祉・健康:	20 kW～
		供給施設:	36 MJ/h～
冷水	270(70) RT 冷凍機 270 RT×1 台 (270 RT の抑制運転)	札幌市中央体育館:	378 MJ/h～
		共同住宅:	— MJ/h～
		医療・福祉・健康:	778 MJ/h～
		供給施設:	3 RT～
		札幌市中央体育館:	30 RT～
		医療・福祉・健康:	30 RT～

(※1)：表中()内数値は1期工事、()無し数値は2期工事における供給能力を示す。
(※2)：表中の数値は確保する下限を表し、供給余力から各供給対象建物の状況に応じて配分する。

CGS増設により、2期工事対象
街区へのエネルギー供給が可能

(札幌駅・大通駅周辺地区都市再生安全確保計画 R3.1.26最新版より)